



志をもって 未来を切り拓け

< 貫く精神 >

自学
温言温動

「志」に向かって挑戦する1年に

校長 加藤 覚

この度の人事異動により、梅林中学校に赴任いたしました加藤 覚（かとう さとし）です。歴史ある梅林中学校で勤務できることをうれしく思っています。どうぞよろしくお願いします。令和7年度のスタートにあたって、梅林中学校が大切にしている学校の教育目標と2つの精神に込められた意味を確認したいと思います。

「志」とは、単なる夢や理想で終わるものではなく、「願い」と「行動」が伴ったものであり、その実現に向けてチャレンジしていく生き方そのものです。自分の将来について考えて、どんな自分になりたいか、どんな生き方をしたいかなど、「めざす自分」を設定することにあります。志をもつことができれば、そのために今何をすべきか、何をやるべきか見えてくるはずです。さらに、「志をもって 未来を切り拓け」とは、「志」の実現に向けて進んで挑戦をして、失敗したり成功したりすることを繰り返しながら、自らを成長させていくという生きる力をつけることにあります。このような生き方は、これからの社会に求められる生き方に直結しています。

「志」に向かって挑戦するときに、「自学」と「温言温動」という二つの貫く精神を大切にしながら、一步一步着実に進めてほしいと思います。「自学」の精神とは、字の通り自ら学ぶことですが、学ぶことの楽しさや喜びを感じながら、自ら進んで学ぼうとする姿勢です。何かの問いや課題があったとして、自分で調べたり考えたりしながら、その問いの答えを見つけようとするわけですが、「自学」の精神が身に付いていれば、答えにたどり着かなくても、さらに解き方や考え方を工夫・改善をして、粘り強く取り組みながら、課題解決をめざしていこうとする姿勢につながります。これからの社会を生きていくうえで、答えのない、回答がわからない物事に対しても、自分なりの考えをもって歩んでいく生き方が大切になってきます。

次に、「温言温動」の精神です。これは、温かい言葉と温かい行動という意味です。しかし、表面的に見える言葉や行動だけでなく、その言葉や行動にはどんな意味があるのか、どんな価値があるのかについて気付くことによって、その子のよさやその子らしさを理解すること（相互理解）が大切です。また、授業の中でも、仲間と協働して学習することが大切です。梅林中学校の授業は、3人～4人の学習班をつくり、その班の仲間と対話をしながら自分の考えを深めていく授業を行っています。そんなときに、「わからないこと」を仲間に伝え合ったり、「わからないこと」について聴き合ったりすることも大切にしています。このように学び合う関係は、「温言温動」の精神につながります。

これらの貫く精神のどちらも大切にしながら、「志」に向けて挑戦していく1年であってほしいと思います。それが「志をもって 未来を切り拓け」という学校の教育目標につながる姿であるといえます。この1年、よろしくお願いします。



「チャレンジして失敗することを恐れるより、何もしないことを恐れよ」



保護者の皆様へ

今年度新たに13名の先生が加わり、35名のスタッフでお子様の学校生活を支えていきたいと思ひます。この1年の梅林中学校の学校教育へのご協力ご理解をよろしくお願ひします。今年度は学校ホームページに学校の様子を掲載していきたいと思ひます。お時間があるときに、ご覧ください。

【梅林中学校 HP】<http://gifu-city.schoolcms.net/bairin-j>